中間のまとめ案の概要

（資料6 補足資料）

第1章　ビジョンの策定にあたって

■趣旨

・台東区は、国内有数の観光地として国内外から多くの観光客を受け入れてきた。観光客が急激に回復する一方で、集中する地域や時間帯によっては、過度な混雑やマナー違反など、さまざまな課題が生じている。
・こうした課題への対応に加え、区民生活と調和した観光のさらなる振興を目的として、区民・事業者・来訪者が共に意識して取り組むための方針として策定する。

■期間

令和9年度から令和12年度までの4年間を目途とする。

■関連計画の位置付け

・本ビジョンは「台東区基本構想」、「台東区長期総合計画」等を踏まえたものであり、区の取組については、関連する個別計画や国・東京都の政策とも適切に連携を図りながら推進していく。

第2章　観光の現状と課題

■国及び都の政策動向

・国：住民生活の質の確保との両立を第一の方針に
・都：都民の受入意向を政策目標の筆頭に

■前方針の達成状況

(1)観光客の意識：満足度・再訪意向とも高水準
(2)区民の意識：観光客の増加に好意的な区民が
　84.3%→70.2%（令和5→7年度）
(3)観光統計指標：観光客数4,287万人、観光消費額5,249億円（令和7年）と、いずれも基準を大きく上回る

■実態調査・事業者調査の結果と課題

・区民が感じるマイナスの影響：歩道の混雑72.2%、
　ごみのポイ捨て68.3%
・再訪を「大変そう思う」来訪者：国内60.0%
　→53.4%（令和5→7年）
・観光客を主要な顧客とする事業者は約3割
・これまで接点のなかった事業者と交流している事業者は10.1%

第3章　理念、将来像及び基本方針の構成

■理念

台東区の発展に貢献する観光の実現

■目標とする姿（将来像）

**区民・事業者・来訪者が調和し、
地域の営みが次世代へ受け継がれるまち**

区民	安心して暮らせる日常が保たれており、地域に誇りをもつとともに、観光を好意的に受け止められている
事業者	観光による効果が、区内の幅広い事業者に行き渡り、事業者同士の連携や観光を通じた新たな事業が生まれている
来訪者	地域の暮らしと文化に敬意を払い、台東区ならではの魅力を求めて訪れている

調和が保たれ、地域の営みが次世代へ受け継がれている

第4章　基本方針と取組

柱Ⅰ　生活環境との調和

基本方針1【重点】 安全・安心・快適な暮らしと観光の調和を図る	・生活環境への影響の抑制 ・来訪者が安心して過ごせる環境の整備 ・区民も利用する環境の改善
基本方針2 地域の受入環境に応じた広域的な周遊を促す	・時間や場所を分散した来訪の促進 ・居心地の良い滞在空間の創出 ・快適で回遊しやすいまちづくり

柱Ⅱ　効果の波及と価値の創造・向上

基本方針3【重点】 観光の効果を地域へ波及させる	・観光と関わりの少ない事業者への機会づくり ・事業者間の連携の後押し
基本方針4 学びと出会いの価値を高める	・本物に出会える機会の充実 ・台東区の魅力とその背景の発信 ・新たな価値を生み出す場づくり

柱Ⅲ　継承と推進の基盤

基本方針5 地域の文化を次世代へ継承する環境を整える	・地域文化の担い手の育成支援 ・地域文化への愛着と誇りを育む機会づくり
基本方針6 戦略的視点で観光をマネジメントする	・取組の効果を測り改善する仕組みづくり ・観光の効果の伝達

第5章　目標指標

・7つの目標指標で達成の度合いを測る。目標は「向上」で示す。

①	多くの観光客の来訪に好意的な区民の割合	70.2%
②	観光が暮らし向き又は仕事に良い影響を与えていると感じる区民の割合	令和9年度に把握（参考90.2%）
③	区内で観光や文化に親しむ活動をした区民の割合	令和9年度に把握（参考92.6%）
④	台東区を魅力ある観光地として紹介できる区民の割合	81.9%
⑤	観光基盤の整備が区民生活の向上につながると思う区民の割合	87.1%
⑥	これまで接点のなかった事業者と交流している事業者の割合	10.1%
⑦	台東区を再び訪れたいと「大変そう思う」来訪者の割合	国内53.4% ・海外58.8%

■継続して把握する事項（目標は置かない）

・観光客数、観光消費額、1人当たり観光消費額、宿泊観光客数、平均宿泊数
・区政サポーターの受け止め（観光客の来訪が好ましい85.8%、取組に満足81.4%など）

第6章　ビジョンの推進

■推進体制

・庁内各課と連携した各取組の推進
・国や東京都、区内観光団体や事業者との連携を強化
・各種調査・データの活用により、取組の成果を客観的に把握
・台東区観光振興推進会議による進捗管理